

シケン 熊本に歯科技工所開設

来年1月7カ所目 入れ歯需要増に対応

歯科技工物製造のシケン（小松島市）は入れ歯の製造を拡大するため、熊本県西原町に来年1月、全国7カ所目となる歯科技工所を新設する。九州に製造拠点を設けるのは初めて。歯科技工士が不足する中、技工士養成の専門学校がある同県に進出することで人材の確保を狙う。生産体制を強化して需要が増えている首都圏でのシェア拡大を目指す。

熊本県の歯科技工所は敷地約2400平方メートル、鉄骨2階建て約750平方メートルの建物を6月から建設する。歯科医から営業拠点を通じて送られた歯型などを基に、樹脂や金属を使った入れ歯を作る。投資額は約2億円。

小松島市の本社技工所から入れ歯の生産の一部を移し、本社などから異動した従業員25人が月2300床の生産体制でスタート。専門学校が熊本市にある

都圏での受注増をにらんで現地での採用を進め、2024年には50人、月産4600床と2倍の規模に引き上げる。

シケン、小松島市と板野町をはじめ、香川、愛媛、東京、大阪の5都府県に計6カ所の技工所を持ち、技工士は計410人いる。熊本県への進出は、シケンへの就職者が近年増えている技工士の専門学校が熊本市にある



シケンが熊本県西原町に計画している歯科技工所の完成イメージ図（同社提供）

点と、建設予定地が熊本空港から車で5分程度と近く、製品の輸送がしやすい点などから決めた。

シケン、歯科医などからの注文を受けて入れ歯や差し歯などを製造しており、18年3月期の売上高は約52億円を見込む。営業拠点

（河野大樹）

は13都府県に計26カ所あり、このうち首都圏では4都府県に12カ所を展開している。

同社は「これまでなかった九州に製造拠点を持つことで、大規模災害時の業務継続などリスク管理も強化したい」としている。